

令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 技術 ） 学年（ 1 学年 ）

目指す授業

板書や資料（プリント・ワークシートや教材）がわかりやすい授業。
自分の考えを書いたり、発表する機会が与えられたりしている授業。



授業・アンケート等の課題分析

毎授業後にタブレットを使って、振り返りはあまり浸透していなかった。できるだけ作業の時間を多くするため、授業中に2分程度しか時間が取れず、授業中に書き込む生徒はまだ少なかった。書き込めなかった分はタブレットに入力するので、空いた時間や、家庭学習時に書き込むように指示をしたが、思うようには進まなかった。ノートをすべてタブレットのアプリである、Teamsで行っているため、授業中にタブレットを開いて書き込むことに少しずつ慣れてきた。



成果と課題

成果

ICTを使い、手順の動画や授業の進め方などを提示し、少ない授業時間数でわかりやすい授業を展開することができたが、家庭学習などで課題を終わらせることはできなかった。

課題

- ・授業中、友人同士で教え合う時間、学んだ内容を確認し合う時間を確保する。
- ・実技の時間が多い教科であり、生徒の興味・関心を高めるための指導法を工夫していく。
- ・作品完成後、自己評価や製品のプレゼンテーションなど、発表の場をつくる。

令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 技 術 ） 学年（ 2 学年 ）

目指す授業

板書や資料（プリント・ワークシートや教材）がわかりやすい授業。
他者の考えや思いを取り入れ、自分の考えを広げ深められる授業
自分の考えを書いたり、発表する機会が与えられたりしている授業。



授業・アンケート等の課題分析

プログラミングが難しかったようで、Teams を使った課題提出が思うようにできなかった。また生物育成の毎週の日誌も提出ができなかった。仲間と共同して取り組む授業が2学期は多くあったが、協力して相談して取り組める班が少なかった。



成果と課題

成果

ICT を使い、手順の動画や授業の進め方などを提示し、少ない授業時間数でわかりやすい授業を展開することができたが、家庭学習などで課題を終わらせることはできなかった。

課題

- ・授業中、友人同士で教え合う時間、学んだ内容を確認し合う時間を確保する。
- ・実技の時間が多い教科であり、生徒の興味・関心を高めるための指導法を工夫していく。
- ・作品完成後や単元後ごとに、自己評価や製品のプレゼンテーションなど、発表の場をつくる。
- ・授業終了5分前に本時の振り返りができる時間を作り、作業の遅れがないよう確認する。

令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 技術 ） 学年（ 3 学年 ）

目指す授業

- ・板書や資料（プリント・ワークシートや教材）がわかりやすい授業。
- ・発表する機会が与えられる授業
- ・授業の最後に学習内容を振り返る時間のある授業。



授業・アンケート等の課題分析

昨年度よりも提出課題に慣れ、積極的に取り組んだ生徒が増えた。だが、タブレットのアプリである Teams を利用した提出課題に慣れなかった生徒は変わらず、成績を伸ばすことができなかった。自分の考えを單元ごとに書いて提出させているが、毎授業で発表する機会を与えることが出来ないのも、どのように行っていけばよいかも課題である。発表する機会をどう増やすかも課題である。



成果と課題

成果

ICT を使い、手順の動画や授業の進め方などを提示し、少ない授業時間数でわかりやすい授業を展開することができたが、家庭学習などで課題を終わらせることはできなかった。

課題

- ・授業中、友人同士で教え合う時間、学んだ内容を確認し合う時間を確保する。
- ・実技の時間が多い教科であり、生徒の興味・関心を高めるための指導法を工夫していく。
- ・授業の最後に学習内容を振り返る時間を作る。
- ・作品完成後や單元後ごとに、自己評価や製品のプレゼンテーションなど、発表の場をつくる。